

東部営農経済センターだより 10月号

東部営農経済センターだより 平成29年10月20日発行

JA静岡市東部営農経済センター TEL: 245-7527

センター長	女性部	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	購買	東部配送
海野	大越	深井	川島・山梨	大塚	望月・安本	田山

茶

【防除】

カンザワハダニ

防除時期 秋整枝後～11月中旬 オマイト乳剤 1,500倍(14日)

※局地的に発生が見られるので注意して下さい。

※ダニは茶株の裾葉や葉裏で越冬するので、薬剤がしっかりかかるように行う。

輪斑病

例年発生が見られる茶園は、

防除時期 秋整枝後 カスミンボルドー 1,000倍(30日)

※秋整枝後速やかに実施して下さい。

チャノトゲコナジラミ

防除は、10月下旬から翌年2月までに2回トモノール又はラビサンスプレー75倍をうね間に沿ってすそ重点で散布する。10a当り/400L

但し、赤焼病の発生を助長する場合がありますので注意して下さい。

【再整枝】(できるだけ逆刃のナラシ機を使用する)

<時期> 年内に行う場合は11月上旬(2月下旬～3月上旬でも結構です。)

<深さ> 秋整枝位置より絶対に深くしない。

<目的> 秋整枝後に発生する遅れ芽や立ち葉など、整枝面から上に出ているものを除去する。

柑橘

【状況】

本年産の極早生みかんの出荷が始まりましたが、外観については風すれ果が多い状態です。青島温州については昨年、浮皮果が多かったことから、着色の良い秀品果から早めの収穫を心掛けて下さい。また、収穫遅れは隔年結果を助長するので計画的に作業を進めて下さい。

【防除】

・温州

散布時期	病害虫名	農薬名	希釈倍率	日数
発生時	ハダニ	カネマイトフロアブル	1,500倍	7日
11月中下旬	貯蔵病害 (収穫後の腐敗防止)	ベフラン液剤25(圃)	2,000倍	前日
		ベンレート水和剤	4,000倍	

・中晩柑

散布時期	病害虫名	農薬名	希釈倍率	日数
発生時	ハダニ	カネマイトフロアブル	1,500倍	7日

※混用は先にベンレート水和剤を希釈し、その中にベフラン液剤を混用して下さい。

【秋肥】

品 種	施肥時期	肥料名	施肥量
スルガエレガント	10月下旬	スルガペレット	6袋/10a
早生温州		5袋/10a	
青島温州	11月上旬	みかん50ペレット	6袋/10a
ポンカン			6袋/10a
不知火・はるみ		新FTE S604	2袋/10a

落葉果樹

【施肥】 落葉果樹の元肥時期となります。

作物名	施肥時期	肥料名	施肥量
柿	11月上旬	静岡フルーツペレット	5袋/10a
梨			4袋/10a

東部ブロック農業祭日程

☆暮らしの豊かさを組合員・地域住民に提供します☆

11月12日(日) 千代田支店	9:00~13:00
11月19日(日) 西奈支店	8:50~11:30
11月23日(祝) 安東支店	8:50~12:00
11月25日(土) あさはた支店	9:00~12:00

※当日は駐車場での混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用下さい!



～購買店休業のお知らせ～

平成29年12月 2日(土)

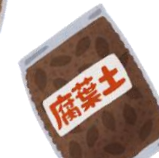
しずおか市町対抗駅伝のため、臨時休業させていただきます。



信頼できる
JA肥料の
お得な年間予約
をご利用下さい。

肥料年間 特別予約

予約受付中



水稻

1、 貯蔵時の病害虫対策

品名	使い方
ネルパック	真空貯蔵袋、30kg用。(コクゾウ虫やカビを防ぐ)
エージレス	ネルパックに入っている脱酸素剤で、詰め替え用 効果の切れた物と入れ替えて使用する(効果1年間)

- ※ 保管場所にクズ米やヌカが落ちていないようきれいに掃除しておくこと。
- ※ 15℃以下で保存すること(病害虫が活動を停止する温度)

2、 ジャンボタニシ対策

収穫後に耕運し、ジャンボタニシを破碎する。
また、厳寒期に耕起し、越冬中の貝を寒さにさらす。耕運速度は遅く回転数を早くすることで、殺貝効果を上げる。

3、 土づくり資材

けい酸は水稻が最も吸収する成分です。根張の促進。倒伏防止、品質向上につながります。

品名	施用量/10a	特徴
とれ太郎	3袋	燐酸・苦土・けい酸・石灰を含む
けい酸加里プレミアム	2~3袋	ケイ酸、カリ、その他を含む

4、 平成29年水稻作業料金表(税込み)

作業名	単位	料金(税込)	備考
刈取	コンバイン	53,460円	刈取・乾燥・籾摺
	バインダー	16,200円	結束ひも代含
脱穀	10a	14,256円	
コンバイン		26,676円	コンバインによる刈取籾
乾燥	仕上げ乾燥	5,400円	玄米水分18%以下とし、それ以上は割増とする
籾摺	60kg	1,188円	乾燥良く収穫した籾
玄米運搬	10a	2,160円	

玄米品評会

開催日：11月20日(月)
規格：玄米500g(うるちのみ)
締切：11月13日(月)
氏名・連絡先・品種名を明記

土壌診断

提出試料：乾土200g
締切：11月24日(金)
※ 氏名・連絡先・採取場所・作物を明記
※ 水稻以外の土壌も可能です。
※ 複数圃場の診断も可能です。
詳しくは、東部営農まで問合せ下さい。

土の採取は、表面を除いて10~20cmの深さまで採土してください。
1圃場の4隅と中央(サイコロの5の目の形)から採土し、混和、乾燥しご提出下さい。次期植付け作物準備の為に土壌診断を活用下さい。診断後、後日土壌診断書をお送りします。(無料)

いちご

1、 株管理

- 摘葉は出蕾時5枚以上とする。(極端な葉かきはしない)
- 2芽になるよう、わき芽を整理する。
- 頂果房の摘果は10果を目安に。
腋花房の花房間葉枚数が少ない場合は頂花房と合わせて10~13果とする。
- 少量多灌水を基本とする。
※ 摘葉・摘果などの株管理が不十分な場合、ガク枯れ・チップバーンの原因になる。
※ 株出来していない株で出蕾してしまった場合は摘み取る。またはきつめに摘果する。

2、 温度管理 基本の温度25℃~27℃を意識して、管理しましょう。

- ビニール被覆：開花直前(2番の分化が確認できてから)
- 保温開始時期：最低気温が10℃を下回ってから(きらび香は12℃)

3、 病害虫防除 『入れない! 出さない! 増やさない!』

ハダニ、うどんこ病には十分注意を! ※予備苗も防除しておきましょう。

ヨトウ	発生初期~	⇒	プレオ(フ)またはプレバソン5(フ)散布
ハダニ	発生が多い場合	⇒	コロマイト(水)散布 ※
	発生が少ない場合	⇒	天敵放飼まではエコピタ(液)200~300倍
うどんこ病	発生が見えなくても保温開始までに防除を行う。 カリグリーン・ハーモメイト・ジーファインの散布 ボトキラー・クリーンカップの定期的散布(汚れ防止にスカッシュ加用)		

※コロマイト(水)天敵7日前まで使用可

ミツバチ・天敵への影響日数には十分注意して下さい。詳細は営農センターまで。

☆☆天敵利用のポイント☆☆

- 10月下旬~11月上旬の気温が高い時期に放飼すると定着しやすい(ビニール被覆後)
- 放飼前にハダニとうどんこ病の防除を徹底しておく。
※ 天敵の影響日数に十分注意しましょう!
- 天敵放飼後は2週間は薬剤散布を控え、定着を促す。
- 12月以降にハダニの発生があった場合は影響の少ない薬剤を発生した場所にスポット的に散布する。

秋野菜のヨトウムシ防除

品目	キャベツ	ブロッコリー	ハクサイ
薬剤名			
プレオ(フ)	1,000倍 - 7日前 - 2回		
プレバソン5	2,000倍 - 前日 - 3回		
アフーム(乳)	1,000倍 - 前日 - 3回	1,000倍 - 3日 - 3回	1,000倍 - 7日 - 3回

農薬散布時のお願い

住宅地近隣の畑での農薬散布の際には、事前にご近所の方へ農薬散布する事を伝えましょう。休耕田に除草剤を散布する際も同様です。